



2026 年 10 月 6 日

各 位

会 社 名 ア ン ジ ャ ス 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 山 田 英
(コード：4563 東証グロース)

問合せ先 広報・IR グループ

<https://www.anges.co.jp/contact/>

**共同開発品 Tie2 受容体アゴニスト (AV-001) の
皮下注製剤の開発推進に向けた助成金獲得のお知らせ**

当社とカナダのバイオ医薬品企業である Vasomune Therapeutics, Inc. (所在地：カナダ、代表者：CEO Dr. Brian E. Jahns) が共同開発している Tie2 受容体アゴニスト (Pegevongitide (AV-001)) の皮下注製剤の研究開発について、カナダ国立研究機構産業技術支援プログラムより最大 280,347 カナダドル (約 31,500 千円：10 月 5 日時点の為替レートによる) の資金及びアドバイザーサービスの提供を受けることとなりましたので、お知らせいたします。

現在開発中の静脈内投与に加えて皮下投与を可能にすることは、AV-001 の投与方法や投与時期の選択肢を広げるうえで重要なステップとなります。皮下投与が可能となれば、投与の利便性が向上し、さらに ICU 到着前から迅速な治療介入が可能となり、血管内皮の安定化による血管漏出の予防を目的として、民間及び軍事の両分野での活用が期待されます。

詳細につきましては、別紙プレスリリースをご参照ください。

以 上

Vasomune Therapeutics、デュアルユース向け血管漏出治療薬の開発推進に向けた助成金を獲得

血管漏出を標的とする Vasomune の主力治療薬 Pegevongitide (AV-001) の
デュアルユース用途に向けた開発を加速

血管漏出の予防及び改善を目的として、血管内皮障害 (Endotheliopathy) を標的とする治療薬を開発する臨床開発段階のバイオ医薬品企業である Vasomune Therapeutics, Inc. (以下、「Vasomune」) は本日、カナダ国立研究機構産業技術支援プログラム (National Research Council of Canada Industrial Research Assistance Program: 以下、「NRC IRAP」) を通じて、最大 280,347 カナダドルの研究開発資金及びアドバイザーサービスの提供を受けることを発表しました。

血管内皮障害とは、血管内壁を形成する内皮バリアが破綻する状態を指します。この状態では、体液やタンパク質が血管内から周辺組織へ急速に漏出し、浮腫や臓器不全を引き起こすことがあります。その結果生じる血管漏出は、急性呼吸窮迫症候群 (ARDS)、出血性ショック、外傷、重度熱傷後のショックなど、防衛・公衆衛生当局が重要視する疾患や損傷に共通する重篤な病態の一つです。

NRC IRAP による助成は、アンジェス株式会社と Vasomune が共同開発を進める Pegevongitide (Tie2 受容体アゴニスト AV-001: 以下、「Pegevongitide」) の皮下注剤の開発を支援するものです。Pegevongitide は、同社のファーストインクラスの Tie2 受容体アゴニストです。静脈内投与に加えて皮下投与を可能にすることは、Pegevongitide の投与方法や投与時期の選択肢を広げるうえで重要なステップとなります。これにより、より早期の介入が可能となり、血管内皮の安定化による血管漏出の予防を目的として、民間及び軍事の両分野での活用が期待されます。

Vasomune の CEO である Brian Jahns 博士は次のように述べています。

「NRC IRAP による Pegevongitide の開発支援に感謝しています。同プログラムは以前にも当社の第 1 相臨床試験開発プログラムを支援してくれました。血管漏出は、多くの戦場関連損傷や重篤な疾患に共通する病態です。今回の支援により、原因にかかわらず血管漏出そのものを直接治療する治療法の開発を前進させることができます。」

また、Vasomune の CFO である Gosia Hodgson 氏は次のように述べています。

「NRC IRAP は当社の開発活動の推進において重要な役割を果たしてきました。NRC IRAP のようなプログラムは、カナダのライフサイエンス・エコシステムの強化とイノベーション創出に不可欠です。」

Vasomune 社とは

Vasomune Therapeutics, Inc. は非上場の臨床開発段階にあるバイオ医薬品企業であり、血管内皮障害及び血管漏出に対する生体防御機能を高める次世代医薬品の開発に取り組んでいます。

Pegevongitide (AV-001) は、トロントの Sunnybrook Hospital 内にある Sunnybrook Research Institute で発見・研究された新規開発品であり、Vasomune がアンジェス株式会社との共同開発契約に基づき、血管内皮障害及び血管漏出を標的として開発を進めています。Pegevongitide は、血管内皮細胞表面に高発現する膜貫通タンパク質である Tie2 受容体を活性化する PEG 化ペプチドであり、血管漏出を抑制するファーストインクラスの治療薬候補です。

血管内皮障害は、血管内壁を形成する内皮機能の病的な障害によって生じ、内皮バリアの破綻により体液やタンパク質が血管外へ漏出します。その結果、浮腫や末端臓器不全を引き起こすことが

あります。血管漏出は、細菌性及びウイルス性肺炎、急性呼吸窮迫症候群（ARDS）、出血性ショック、外傷、重度熱傷後ショックなど、多様な疾患や病態に共通する重篤な基礎病態です。

Vasomune の本社及び研究施設はカナダ・トロントに所在し、米国ノースカロライナ州ローリーにも事業拠点を有しています。詳細については <https://vasomune.com/> をご覧ください。

アンジェス株式会社とは

アンジェス株式会社は、1999 年 12 月に設立されたバイオ医薬品企業で、遺伝子治療薬の開発に注力しています。主力開発品である HGF 遺伝子治療用製品は、2024 年に米国 FDA からブレイクスルー・セラピーの指定を受けました。現在、同社はウイルス性及び細菌性肺炎を対象とした Tie2 受容体アゴニスト（AV-001）や、慢性椎間板性腰痛に対する NF- κ B デコイオリゴヌクレオチドの開発に取り組んでいます。さらに、2020 年 12 月には EmendoBio を買収し、ゲノム編集技術の強化を図っています。詳細は <https://www.anges.co.jp/> をご覧ください。

*HGF：肝細胞増殖因子（Hepatocyte Growth Factor）